

寺報

龍正寺

日なた 176.177号

卯年
日
廷
分節



<令和 5年 1~2月>

宝龍会
護持会

任職一言 (欲令衆)

令和5年卯年を迎えて、1ヶ月が過ぎました。いかがお過ごしでしょうか。近月元朝祝禱会は皆様に御迷惑をお掛け致しました、コロナにより法要をいたす事が出来ませんでした。当山ではコロナ対策を致し安心して御参拝して頂ける様に消毒・換気いたしております。
皆様方、コロナに充分気を付けて毎日をお過ごし下さい。寺報日なた、ホームページも1月号を休みいたし2月より令和5年度 176(1月)号・177(2月)号重ねて発行致し3月178号より毎月発行致す予定でありますから本年も寺報日なたホームページの講読をご愛用下さい。よろしくお願ひしきす。講読していただく何かのお役にたてばと思っております。
175号(12月)の続き欲令衆です。

妙法蓮華經譬喻品第三より

「三界は安きことなしな火宅のごとし、衆苦充滿してはなほだ怖畏すべし常に生・老・病・死の憂患ありかくの如きらの火熾然としてやまず如來はすでに三界の

火宅をはなれて寂然として閑居し林野に安處
せり今この三界はみなこれわが有なりその中の衆生
はもとごとくこれ吾が子なりしかもこの處は諸の患
難多しただわれ一人のみよく救護をなす。」

(お経の解説)

三界は火のついた宅と同じように、人生の生活というものにはチツと
も安い所がない、いろいろな苦しみがその中にみちていて、はなは
だ怖ろしいものである。常に病気をす。死ぬというように種々の苦しみ
がある。そういうようなものがさようで火のようになってさかんにも
えてやまない、仏さまは疾くの昔からいろいろ修行して、悟りを開
いて、この苦しみの多い世の中に煩わされる境界をスツカリはなれて
寂然として静かにいる寂というのは周囲から影響をうけないこと、
林野に安處せり人里はなれて山の中か野原のような境界に落着い
ている、もう自分は世の中にとらわれるところもなければ「求めると
ころもない、しかし振り返って見ると世の中は苦しい事が多い、
釈迦牟尼の言葉をやくせば「能仁寂黙この寂黙は寂然閑居
と作るいであり能仁人を救うカのをなわっていることである、
寂然のゆえに生死に住せず能仁の故に涅槃に住せず」と天台

は説明している、どんな境遇においても平気なのだから生死に任せず身はこの地の上に住んでいても心は世の中の煩悩を一切うけない、これを能仁というのである生死に任せざる心をもちながらしかも涅槃に任せず悟った境界に引っこんでいずに自ら迷った人間といっしょにいろいろな苦をともにして彼等をすくうのだ」という今この三界はみな自分の有であるその中の衆生はことごとくわが子である、しかも今この世間にはもろもろの苦しみ悩みが多く世間の人々の周囲の状態は始終変化してやまない、その世の中において自分一人に救う力がある、自分は世間をはなれた浄らかなところにいるのだから、その浄らかなところからでていって救えるのである、唯我一人自分よりほかには救う者はないと思って進んでやるのだ」というのである。このつづきは次号に書きます

合掌

南無妙法蓮華經

— 心遣い —

新年を迎え、1ヶ月が経ちましたが、皆様元気に
お過ごしでしょうか？

我が家には年末のクリスマス、サンタさんからハムスター
が届きました。動物好きで次男のために届いたもので
です。枕元にどう置こうか考え、お店の方にもご協力
いただき、サンタさんがお店に預けてくれたという設
定で取りに行ってきました。

お店の方は息子に、「このハムちゃん、サンタさんが届け
てくれたよ！」と声を掛けて下さり、息子も少し照れな
がら、^{今も}大切にお世話をしています。

別の家庭では、こんなクリスマスの話を身にしました。
手ぶらで家のチャイムを押したのは宅配便のお兄さん。
小声で、「荷物はおもちゃなんですけど、包装が透けて
まして…。時期的にアレですよ？ 今大丈夫でしょうか？」
とのことでした。機転をきかせてくれた業者の方に感謝
の気持ちで一杯です。とのことでした。宅配便の方は、荷物
を届ける、無事に届けるのがお仕事ですが、相手の
立場になって考えて下さった行動は素晴らしいですよ
ね！ そうかもしれないと思っても、違っていたらどうしよ

と考えすぎて行動に移せなかったり、荷物を届けるのに一回手ぶらで行かなくてはいけないのは面倒だな...と
思ってしまったりして、行動できなかったり、又、そんな事は
思いつかず、ただ、荷物を届けるだけで終わってしまう。
私は今年、新しい事にチャレンジしています。不安な部分
は勿論ありますが、周りの方々に喜んでいただける様に
沢山勉強し、機転をきかせて行動に移していきたい
と思います。

卯年、卯が跳ねるように、私もステップアップしていき
ます。◇

茶髪の彼

ある日の朝、主人を見ていっもと何か違う。
穏やかな優しい表情に感じました。「あーっ!! 髪毛が
茶色。」白髪まじりの黒髪が…茶色に変身していたのです。
おもわず「とーしたの? ひっくりしたけど優しい感じかして
似合ってるよ。」と言うと、「気がついてくれてありがとう。」
と喜ぶ主人。以前であれば、驚きの言葉よりも、その
変化を楽しめずに、その行動を非難していたと思います。
しかし、今は髪の色など興味も示さなから主人が
一人行動した事に喜びを感じています。

病気の為か、日々無気力感を感じて心配していまし
た。何かをやってみよう!!と行動してくれた事で、私達
家族に喜びを与えてくれました。

次は何色に染めますか? 大病を幾度と乗り越
えて来た彼に、生きている事をもっと楽しんでほしい。
一日一日をエンジョイしてほしいと思います。そして私
達家族を楽しませてほしいと願うばかりです。

第二の人生スタート開始

数年前から還暦の誕生日に身延山久遠寺 日蓮大聖人様のお膝元に参ろうと心に決めていました。

この過ごして来た人生を振り返り、改めて変える。そのような思いが強くなりました。

早朝の新幹線で名古屋から静岡へ、静岡から特急ふじかわで身延への予定でした。しかし、アクシデント!! 静岡で乗車する特急に乗れませんでした。乗るはずの電車が目の前を通りすぎた時、"あーやってしまった!!", あせりましたか、次の電車にすぐ乗れると安易な考えがありました。

次の電車まで1時間40分待ち…。決心して行動して来たはずなのに…色々思うと心のリセットが必要でした。

久遠寺で御祈禱を受けて、忠安寺(甲斐市)の進藤日保上人の毎月されているお題目行(祖師堂前)に参加させて頂く予定でした。

久遠寺到着 待つ事もなく、御開帳・御祈禱を受ける事が出来ました。日蓮大聖人の御前で巽経を当て頂き感無量でした。もうひとつ大きな感動がありました。

それは、御祈禱を受けていた その時 が 60年前、私か
産まれた 時間 だった 事です。

まさに、生まれ変わった と思いました。

午前中の雨もほぼ止み、傘をさす事もなく、進藤上人と
参加者の方と共に お題行 にも参加する事が出来ました。

身も心も軽く、これから 2回目の人生がスタートしました。
ますます精進して充実した 一生を送りたいと思います。

南無妙法蓮華經

令和5年
年の初めに...

年のはじめのためして...

終りなき世のめでたさに松竹たて
内にとに 祝いあう今にえ たのしけれ

初日のひかり さしいでて 四方にかが
やく今朝の空と...

子供の頃によく聞いた歌でしたが...

時代も移り変りました中できこえなくなって
ゆく尊い歌が心に残っています

正月つきも早いもので終りました!!

先日のご法話よりです

1日が1分1秒と足早に過ぎて時は
流れてゆく大なる1日...尊い1日であること
をお正人さんより伺いました

そんな大なる1日をなんだが無駄に過ぎて

いろいろに思ってみます82才の老いの体に
遠い遠いと老いがあっかけてきていますそんな中で
この頃は老い込んでおります

昨年の11月にお正人さんより R5年の11月には
身延山への参拝を致しますのでご一緒にと
お声をかけて載きました 今までだったら
この痛い足では行けなかつたと思っておりましたが
そうでしたかうれしいです ご一緒させて下さいと
お願いを致しました！！

そして12月の初めの頃にスノーでお知り合いの方に
お会い致しました いつもしたら 心にちはお元気
ですかとのご挨拶ぐらいでお別れ致しますのに

その日はめずらしく立止まって話しました…

その方もむぎん痛がひどい方ですので むぎんが痛いゆえと
話して2人が笑って話しました…

どこどここの接骨院がいいよと教えてもらいました
1度行ってみたらとすすめて下さったのです

その時にふっと思いました 身延山への参拝へ
出かけるには少しでもむき痛をよくして快適で
参拝とさせていたたけようようにと仏さまがその方に会わ
せて載けたのではないかと思いました…

あくる日にすぐ出かけました

痛むやねえ…でも自分の足で歩けるうちは治療を
すれば直るとおっしゃる先生です

1万人以上を診てきたわたしです 大丈夫大丈夫

絶対によくなると希望と夢のある言葉を与えて
いただけました うれしくて涙でお願いを致し
ました うちでやてはダメやよ 治療に来て
もらわねば良くならんよと念と押し合いました

歩いてないし 運動もしてません 努力不足のわたく
しなのです。筋肉が硬い… 治療のおとは足が少し
軽い…こうして治療を重ねてよくなってゆくよう
ですが重症だからまだわかりませんが身延山へ
の参拝をさせていたたきたいので通院を

致します ひざがすしても良くなって…
何かが変わるでしょうか？

生るとは変化してゆくそれが自分づくりで
あと本より学びました 夕べも仏さまご先祖
さまに 82才のよろこびを涙で御礼を申しました
ゆかせてもらいましたと…の中の今に有りかた
い感謝の思いで 胞がらばいで 読経の声と
涙声です…

老いとはすび行く秋だそうです 枯れてゆく
のでしょうか？ 枯れてはいやです…法々経
の尊いご縁をいただけでご法話より心を
学び今のわたくしの心に幸せとよろこびを与
えてもらってますことが何よりの宝でございます
そして善きことを思ふ心を一生持ちつづけてゆく
ことの大切さも学びました 信仰もいじの思いが
伴ってゆかゆかのように思ってみます まだまだ修
養の足りないわたくしでございます どうぞ どうぞ本年も
よろしくお願ひ申し上げます

合掌

< 2月行事予定 >

2月12日(日) 13:00~	役員会
2月13日(月) 10:00~	宗祖日蓮大聖人降誕報恩会 釋尊涅槃会
2月18日(土)	祖父江上人様 帰山式

< 2月住職の予定 >

2月18日(土) 妙泉寺様の帰山報告式。

< 2月の予定 >

2月6日(月)	各々の時間で"	清掃. 準備
>	↓	↓
13日(月)	法要後	片付け

※ 2月18日(土) 鬼子女尊神、七面大明神祈禱会を予定していましたが、祖父江上人様の帰山式と重なるため、13日(月)に祈禱会も厳修するとさせていただけます。